

# No.92 A WORD FROM ANOTHER WORLD



## Norway's national day! Oda Rānes

May is a special month in Norway. After a long and dark winter, spring is finally at its peak; flowers are blooming and birds are singing.

One of the most important celebrations in Norway, if not the most important one, takes place this month. The 17th of May is Norway's National Day, or the Norwegian Constitution Day. Many also call it 'the children's day'. It has been celebrated since 1864, but the constitution was signed already in 1814.

Unlike many other countries, Norway does not have military parades. Rather, school children parade through the streets, singing songs while waving the Norwegian flag. In Oslo, the capital city, they all pass by the Royal Palace where the Royal Family is seen standing on the balcony waving and smiling at the children.

At schools throughout the country children participates in games such as potato sack races and wheelbarrow races. People wear their traditional costumes; eat ice cream, hot dogs and cakes. It is a day filled with joy and laughter.

### 【ちょっと豆知識】宮地晶子

potato sack という言葉が出ました。sack(サック)とは「すた袋」。イモや石炭、コーヒーなどが入る大きな袋のことですね。これに子供達が足を入れて、走ります。手押し車レースwheel barrow raceは、子どもが前の子供の両足を持って進むレースではなく、手押し車に子どもを乗せて、もう1人の子どもが押すのだそうです。楽しそうですね。

## ノルウェーの祝日 ウダ・マイ・ローネス

ノルウェーにとって5月は特別な月です。長く暗い冬も終わり、ようやく春が真盛りになって、花が咲き、鳥が歌います。

最重要とは言わないまでも、国で最も重要な祝日の1つが、5月にあります。5月17日は、ノルウェーの祝日、憲法記念日です。

「子供の日」と呼ぶ人もたくさんいます。お祝いはいくつかの年から行われていますが、憲法が制定されたのは1814年のことです。

他の多くの国とは違い、軍事パレードはありません。それより学童が国旗を振り振り、歌を歌いながら、通りを練り歩きます。

首都オスロでは、子供達は王宮のそばを通り、王室一家がバルコニーから子供たちに手を振り、ほほえみかけるのを見ることが出来ます。

國中の学校で、子供達はじゃがいも袋競走や手押し車レースなどのゲームに参加します。人々は伝統的な衣装を着て、アイスクリームやホットドッグ、ケーキを食べます。歓びと笑い声に満ちた一日です。

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

## エイゴノマナビカタ

第159回

## 英語、大好き!

長らく英語に関わる仕事をしてきましたが、なかなか純粋に英語が好きとは思えませんでした。ずっと「その場で要求されていることに応えられているか」という緊張が先にあったからでしょうか。通訳など、人と人の間に立つと、言いづらいことや主張がぶつかり合うこともあります。楽しいことばかりではありません。「英語が話せていいね」と言われても、かえって辛かったものです。

でも、最近ふと気持ちの大きな変化に気がつきました。英語楽しい。英語好き。そう感じる自分がいて、びっく

りしています。

3月のまだ寒いころ、進学で東川を離れる卒業生が学校を訪ねてくれました。「先生、英米語学科に進学します。」帰り道、あんまりうれしくて、畑に落ちこちそうになりました。彼が中学生だった頃の楽しかった授業風景を思い出していました。卒業生みんなに会えるわけではありません。他にも英語を専攻する子がいます。頑張っている子たちの優秀さもよく聞こえてきます。英検の面接でばったり会うということもあります。もちろん卒業生ばかりではなく、中学校にも一生懸命やっている子たちが、たくさんいます。この子たちみんなの「英語が好き」という気持ちがあって、初めて私も心から「英語楽しいなあ。英語好き。」という気持ちになれたのだ、と気づきました。

本当にありがとう。この前、奇しくも、英検協会の人が出ていました。「とにかく先生方は、生徒さんに英語を好きにさせてほしい。それが、長い目で見ると一番大事です。」

まずは、私が楽しくないとね。